

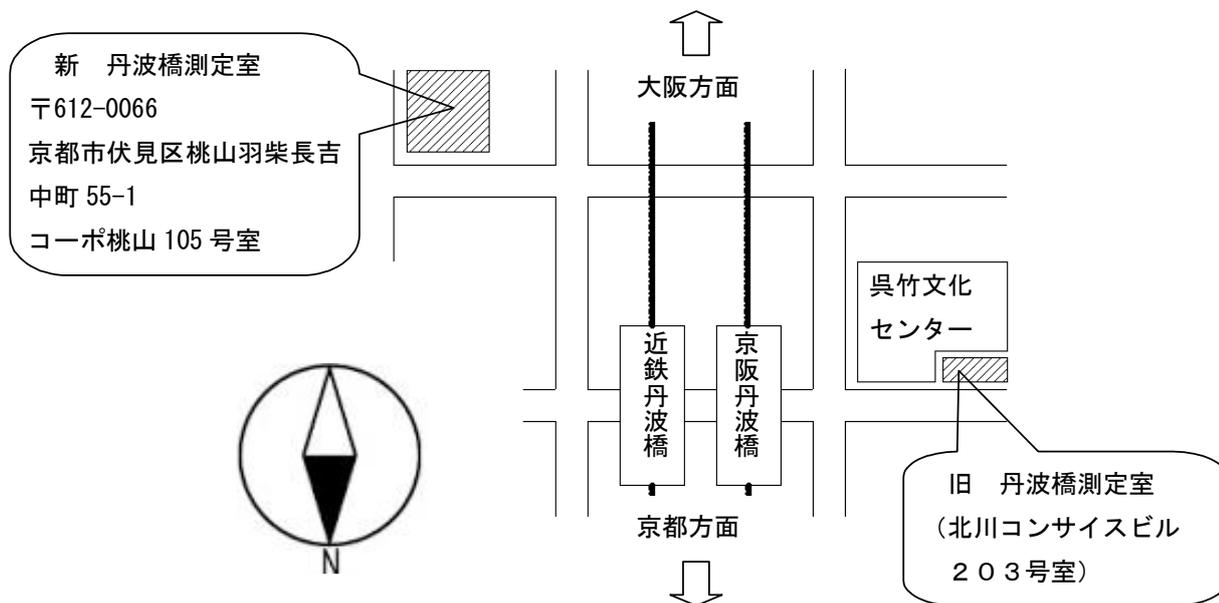


【新・丹波橋測定室 10月1日リニューアル・オープン♪】

会員のみなさま。

このたび、京都・市民放射能測定所 丹波橋測定室は、場所を移転しました。

2012年5月の開所以来4年間親しんできた『北川ビル』を離れ、駅をはさんで反対側の『コーポ桃山105号室』に移り、10月1日（土）からリニューアル・オープンします。



新しい丹波橋測定室は、市民・住民の方にいっそう親んでもらえる場所として、発展させたいと考えております。近鉄丹波橋駅からは徒歩2分と便利な所です。

測定のご依頼に引き続き対応していくとともに、勉強会や交流会を定期的に行うことができるスペースを確保できたと考えています。

みなさまのいっそうのご利用を、お願い申し上げます。

2016年9月23日

事務局長 佐藤和利

汚染土再利用に反対！環境省に抗議アピールを送りました！

2016年9月4日

環境大臣 山本公一 様

環境省の「8000 ベクレル/kg 以下の汚染土を公共事業で再利用」する方針に
抗議し撤回を求めます

京都・市民放射能測定所
代表 奥森祥陽

原子炉等規制法では、原発解体で生じるコンクリートや金属等の「安全に再利用できる基準」（クリアランスレベル）は100 ベクレル/kg 以下と定めています。

環境省は、3月、東京電力福島第1原発事故後の除染で出た8,000 ベクレル/kg 以下の汚染土を、「遮蔽および飛散・流出の防止」を行った上で、全国の公共事業（道路等）で利用できるという方針を決定しました。

しかし、コンクリートで覆う等で放射線を遮蔽しても大地震が発生すれば、道路が陥没、崩壊し汚染土はむき出しになり環境中へ放出されます。「想定外の自然災害」による構造物の破壊はこの間の教訓です。

汚染土で盛り土を造り放射線量を測る実証実験を年内にも始めようとしていますが、そもそも、隔離しないで道路等の公共物として使用しながら170年間（再利用方針を決定する際、クリアランスレベルまで減衰するとした試算期間）も管理するのは非現実的であり意味のない実証実験です。

環境基準を緩くすれば日本に海外の汚染物質が外国から入ってくることも懸念されます。

通常の発生土を使わずに汚染土を使おうという動機づけのため、仮に「逆有償」で引き取らせるようなことになれば、その後不法投棄される危険性もあり、再利用は汚染の拡大につながります。

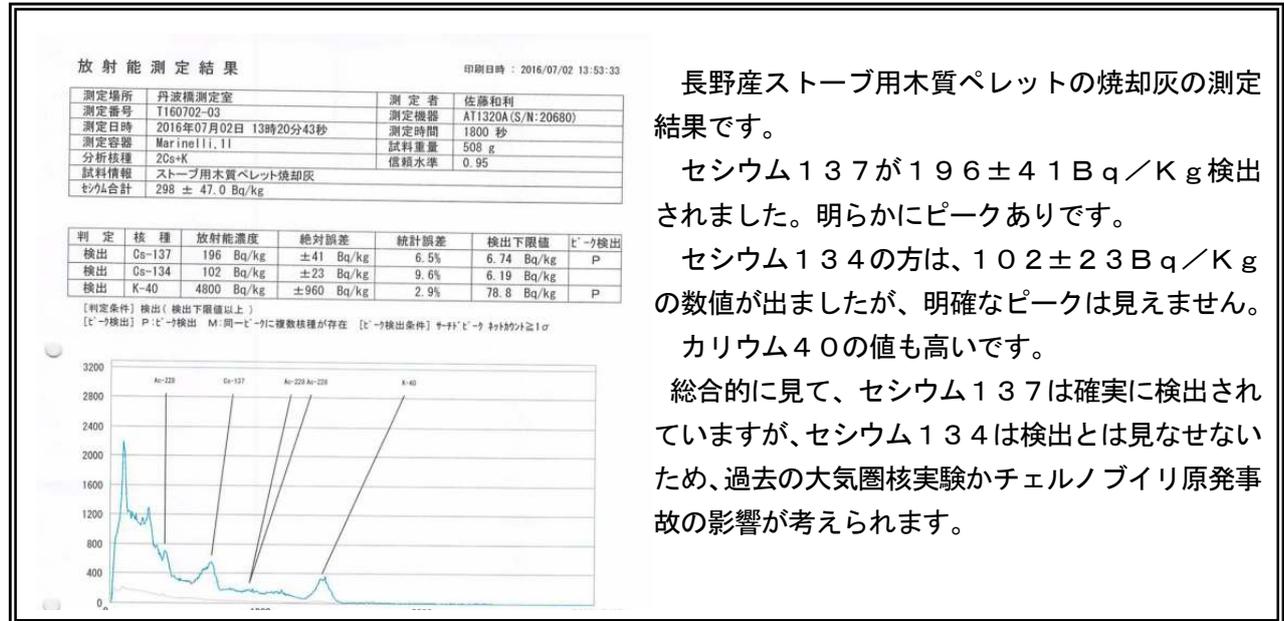
以上のことから、「8000 ベクレル/kg 以下の汚染土を公共事業で再利用」する方針の撤回を求めます



気になる測定結果

【ストーブの灰からセシウム137を検出】

7月2日に測った長野産ストーブ用木質ペレットと、その焼却灰の結果は、興味深いものになりました。



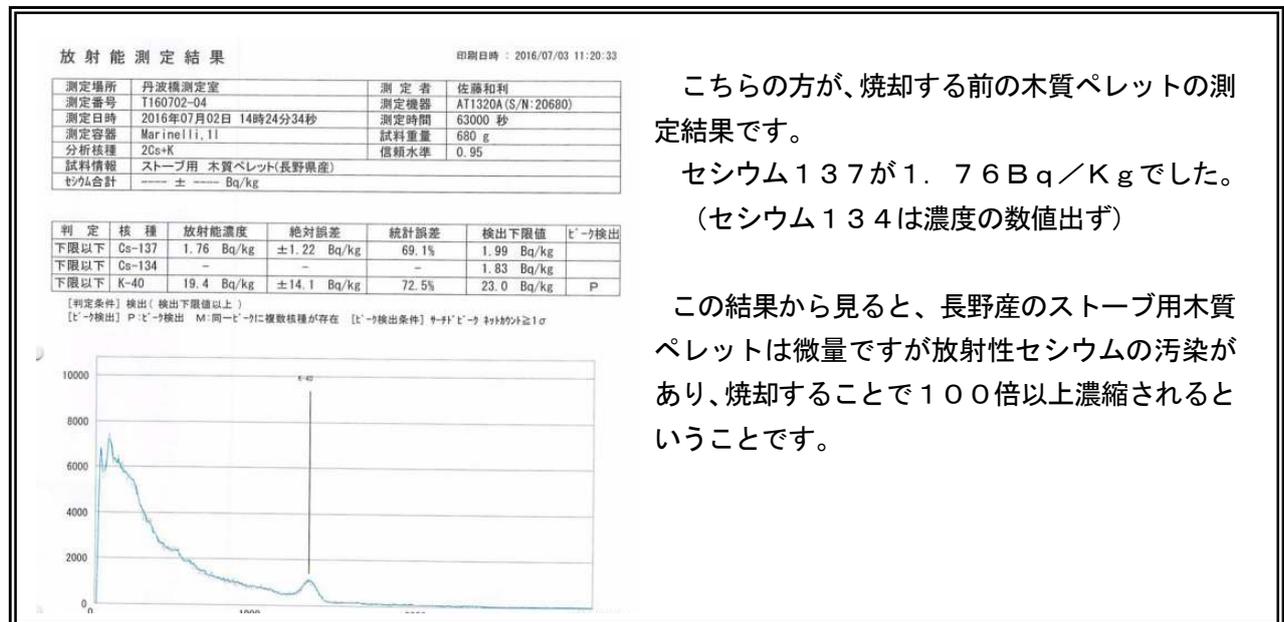
長野産ストーブ用木質ペレットの焼却灰の測定結果です。

セシウム137が196±41Bq/Kg検出されました。明らかにピークありです。

セシウム134の方は、102±23Bq/Kgの数値が出ましたが、明確なピークは見えません。

カリウム40の値も高いです。

総合的に見て、セシウム137は確実に検出されていますが、セシウム134は検出とは見なせないため、過去の大気圏核実験がチェルノブイリ原発事故の影響が考えられます。



こちらの方が、焼却する前の木質ペレットの測定結果です。

セシウム137が1.76Bq/Kgでした。(セシウム134は濃度の数値出ず)

この結果から見ると、長野産のストーブ用木質ペレットは微量ですが放射性セシウムの汚染があり、焼却することで100倍以上濃縮されるということです。

この2つの測定結果を見て、私は以前から被災地のがれき処理の問題でも、焼却という方法は最悪の処理方法だと言ってきましたが、あらためてそう感じました。わざわざ濃縮して危険を高める必要があるのでしょうか？

灰を測定するとき、私は吸い込まないように防護して、マリネリ容器につめて測りましたが、一般家庭では普通に処理されているのでしょうか。測定依頼者の方は、思いがけない結果に、「このストーブ、これからどうしよう」と悩んでおられました。測ってみななければ、わからないことでした。(佐藤)

インフォメーション

★落合栄一郎さん講演会

『放射能の脅威－放射線は人類を滅ぼす』

10月23日(日) 14時開会

呉竹文化センター(京阪・近鉄丹波橋駅)

要予約(測定所アドレスにメールして下さい)

定員35名 先着順です。

★団結まつり

10月30日(日) 11時～16時

扇町公園(JR天満駅、大阪地下鉄扇町駅)

ホット・スポット・ファインダーのカンパを集めます♪

★資料閲覧のおすすめ♪

丹波橋測定室では、福島県の新聞(民友、民報)の記事をスクラップしています。放射能関連の書籍等も閲覧できます。ぜひご利用ください。

測定所全体ミーティング

★10月9日(日) 15時～16時30分

丹波橋測定室。関心のある方、大歓迎です。

【引越しは大変だ～】

9月19日の丹波橋測定室の引越し風景です。スタッフ一同、奮闘しました。



会員のみなさまへのお願い

京都測定所をいつもご支援いただき、スタッフ一同感謝しております。

しかし、今後も引き続き測定所の運営を続けていけるかどうかは、現状のままでは大変厳しく、みなさまからの会費と測定依頼に頼るしかありません。

会員の継続(年会費納入)を、心からお願い申し上げます。

なお、右記の口座に年会費を振り込んでいただいた方には、後日新しい会員証をお送りいたします。よろしく願いいたします。

◇年会費(会員になった日から1年間)

正会員 4千円

サポート会員 2千円

◇以下の口座に振込んでください。

・郵便振替口座

00990-8-147255 京都市民測定所

・ゆうちょ銀行

14440-6770961 京都市民測定所

(他銀行からの場合)

店名 四四八 店番 448

普通預金 0677096 京都市民測定所



京都・市民放射能測定所 事務局

〒612-0066 京都市伏見区桃山羽柴長吉中町 55-1

コーポ桃山 105 号部屋

TEL/FAX 075-622-9870

E-mail : shimin_sokutei@yahoo.co.jp

<http://nukecheck.namaste.jp/> <http://crmskyoto.exblog.jp/>